

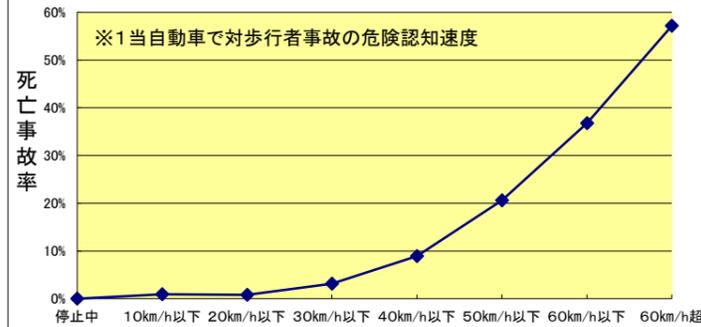
# 茨城県警察速度管理指針

## 茨城県における総合的な速度管理の必要性

### 危険認知速度が高いと死亡事故率が上昇

自動車対歩行者の事故では、車両の危険認知速度が高いほど死亡事故率が高い。  
 ※注1  
 ※注2

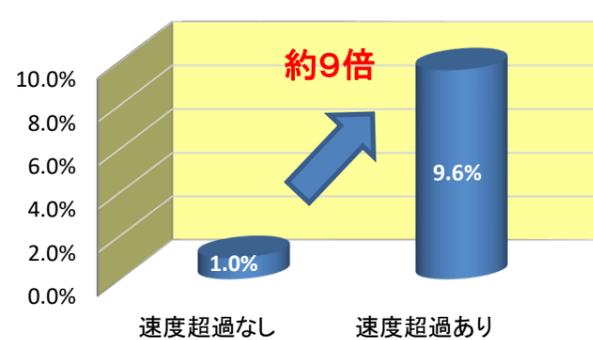
危険認知速度と死亡事故率



### 規制速度の遵守が死亡事故率を下げる

規制速度の超過がある交通事故は、規制速度の超過がない交通事故に比べて、死亡事故率が約9倍である。

速度超過の死亡事故率



### 交通指導取締り等が交通事故抑止に効果あり

令和2年12月以降、可搬式速度違反自動取締装置による通学路・生活道路での速度違反取締りを推進した結果、交通事故発生件数の減少が認められた。



登下校中の小学生が負傷する交通事故発生状況

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
事故件数	31	16	13	17	23	16	8
	導入前3年間の平均 20件		導入後3年間の平均 17件				

幅員5.5m未満道路における交通事故発生状況

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
事故件数	627	497	452	422	455	451	378
	導入前3年間の平均 525件		導入後3年間の平均 443件				

### 幹線道路

特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>規制速度の超過による死亡事故の割合が全体の約3割を占める。</li> <li>直線道路で発生する交通事故が全体の約6割を占める。</li> <li>全事故に占める死亡事故の割合は幹線道路が最も高い。</li> </ul>
目標	規制速度の遵守による交通事故抑止及び被害軽減
施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>速度違反の取締りと情報発信活動の推進</li> <li>速度管理の必要性にかかる啓発活動の推進</li> <li>道路利用者への速度遵守の働きかけ</li> </ul>
路線・地域	施策を一層推進する主な路線 ■ 国道6号 ■ 国道294号 ■ 国道408号 ■ 県道水戸神栖線 ■ 県道取手つくば線

### 市街地

特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>規制速度の超過による死亡事故の割合が全体の約3割を占める。</li> <li>直線道路と交差点での事故が、全事故の約9割を占める。</li> <li>事故多発時間帯は16時～20時である。</li> </ul>
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑な道路交通の確保</li> <li>薄暮時から夜間における規制速度の遵守</li> </ul>
施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故多発時間帯における最高速度違反等の重点的な取締り</li> <li>発生実態を踏まえた交通安全教育と広報啓発活動の推進</li> <li>道路利用者への速度遵守の働きかけ</li> </ul>
路線・地域	施策を一層推進する主な地域 ■ 県央:水戸市千波町地内 ■ 県北:日立市大みか町地内 ■ 鹿行:神栖市大野原地内 ■ 県南:つくば市研究学園地内 ■ 県西:筑西市玉戸地内

### 生活道路

特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車対歩行者の死亡事故の約4割は、危険認知速度が30km/hを超過している。</li> <li>交差点で発生した死亡事故は、全体の約4割を占める。</li> <li>全事故を事故類型毎に昼夜別で見ると、昼間の出会い頭の事故が約半数を占める。</li> </ul>
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>車両の速度抑制</li> <li>車両や歩行者が輻輳する交通環境の改善</li> </ul>
施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ゾーン30」による面的な速度規制</li> <li>道路利用者への速度遵守の働きかけ</li> <li>可搬式速度違反自動取締装置による最高速度違反等の重点的な取締り</li> </ul>
路線・地域	施策を一層推進する主な地域 ■ 県央:水戸市元吉田町地内 ■ 県北:日立市鮎川地内 ■ 鹿行:鹿嶋市宮中地内 ■ 県南:阿見町大字阿見地内 ■ 県西:結城市結城地内

### 高速道路等

特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>前方不注意が事故原因の約5割を占める。</li> <li>事故の多発時間帯は8～12時である。</li> <li>交通事故の約7割が常磐自動車道で発生している。</li> </ul>
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑な道路交通の確保</li> <li>規制速度の遵守による交通事故の抑止及び被害軽減</li> </ul>
施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故発生実態を踏まえた規制速度の遵守にかかる広報啓発活動の推進</li> <li>事故多発時間帯における最高速度違反等の重点的な取締り</li> </ul>
路線・地域	施策を一層推進する主な路線 ■ 常磐自動車道 ■ 北関東自動車道 ■ 首都圏中央連絡自動車道

※注1:危険認知速度とは、事故直前の車両の速度  
 注2:死亡事故率とは、全交通事故に対する死亡事故の割合